

中山大郎 （明治） 民俗學者。明治九年十一月十二日栃木縣足利生れ、  
 昭和二十一年六月十二日歿（八七六一九四七）。本名大郎一。號丙子。東  
 京專門學校卒。新聞社、出版社勤務の傍ら柳田國男の師事として民俗學  
 を研究。退職後専念。

著書に『祭禮と風俗』（昭和四年七月、千代地平社書房）『民俗藝術叢  
 書』（）、『日本民俗學論考』（昭和八年一月、二十一社）、『日  
 本民俗學辭典』（編、昭和八年十一月七日昭和書房）、『補遺日本民俗  
 學辭典』（昭和十年九月、千代昭和書房）、隨筆『耳のゆゑ』（昭和  
 十一年十月、千二百象文閣）、『歴史と民俗』（昭和十六年六月、千  
 五百二宮書房）『現代叢書』（）、『傳統と民俗』（昭和十六年九月、千  
 百二反社）、『生活と民俗』（昭和十七年六月五日、二宮書房）『現代叢  
 書』（）、『校註諸國風俗問狀答』（編著、昭和十七年十月、二十五、百東  
 洋堂）、『學界南方熊楠』（昭和十八年一月、千五百富士山房）、『信  
 仰と民俗』（昭和十八年九月十五日、二宮書房）『現代叢書』（）、『日本  
 若者史』（昭和二十一年二月十五  
 日、百日文社）等。

